

アグリワークポイント



収穫に向けて

果樹林産センター 青島



樹上選果

・樹上選果では、病害虫被害果やキズ果、皮果等の外観不良果と規格外の大きさの果実を摘果します。天成り果等の果梗枝が太い果実は、秋芽が発生しないよう果梗枝ごと剪定ばさみを使って基部から間引きます。商品価値の低い果実をあらかじめ摘果しておくと、収穫作業や家庭選果の省力化につながります。

秋肥

秋肥は、果実生産により弱った樹の樹勢の回復、耐寒性の向上、翌春の着花量や発芽量を確保することを目的に施用します。

病害虫防除

10月に入っても高温多雨の日が続く場合は黒点病の防除が必要です。ただし、収穫時期に近づいてくるため、収穫前日数に特に注意しましょう。

秋期のミカンハダニ被害は、収穫時の果実の外観に大きく影響しますので、徹底防除に努めましょう。気候の温暖化により、病害虫の発生時期が伸びる傾向にありますので、園地をよく観察して被害の発生に注意しましょう。

カメムシ

今年も果樹カメムシ類の被害が多いことが予想されます。多発した場合は落果を引き起こします。周囲にスギ、ヒノキの林がある場合は飛来する可能性が高いので、園地ごとの飛来状況を常に確認しましょう。

防除はネオニコチノイド系（スタークル顆粒水溶液、ダントツ水溶液）や合成ピレストイド系（ロディー乳剤、テルスターフロアブル）の農薬を使用します。防除薬剤の使用回数および収穫前日数に注意して防除を行いましょう。

時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用基準
10月上旬	黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日～4回
発生時	ミカンハダニ	コロマイト水和剤	2,000倍	7日～2回
発生時	カメムシ・ミドリヒメヨコバイ	ロディー乳剤	2,000倍	7日～4回
降雨が多い場合	褐色腐敗病・黒点病	ストロビーDF	2,000倍	14日～3回

時期	品種	肥料名	施肥量
10月下旬	早生	粒状固形 B080	3袋/10a
11月上旬	青島	粒状固形 B080	3袋/10a